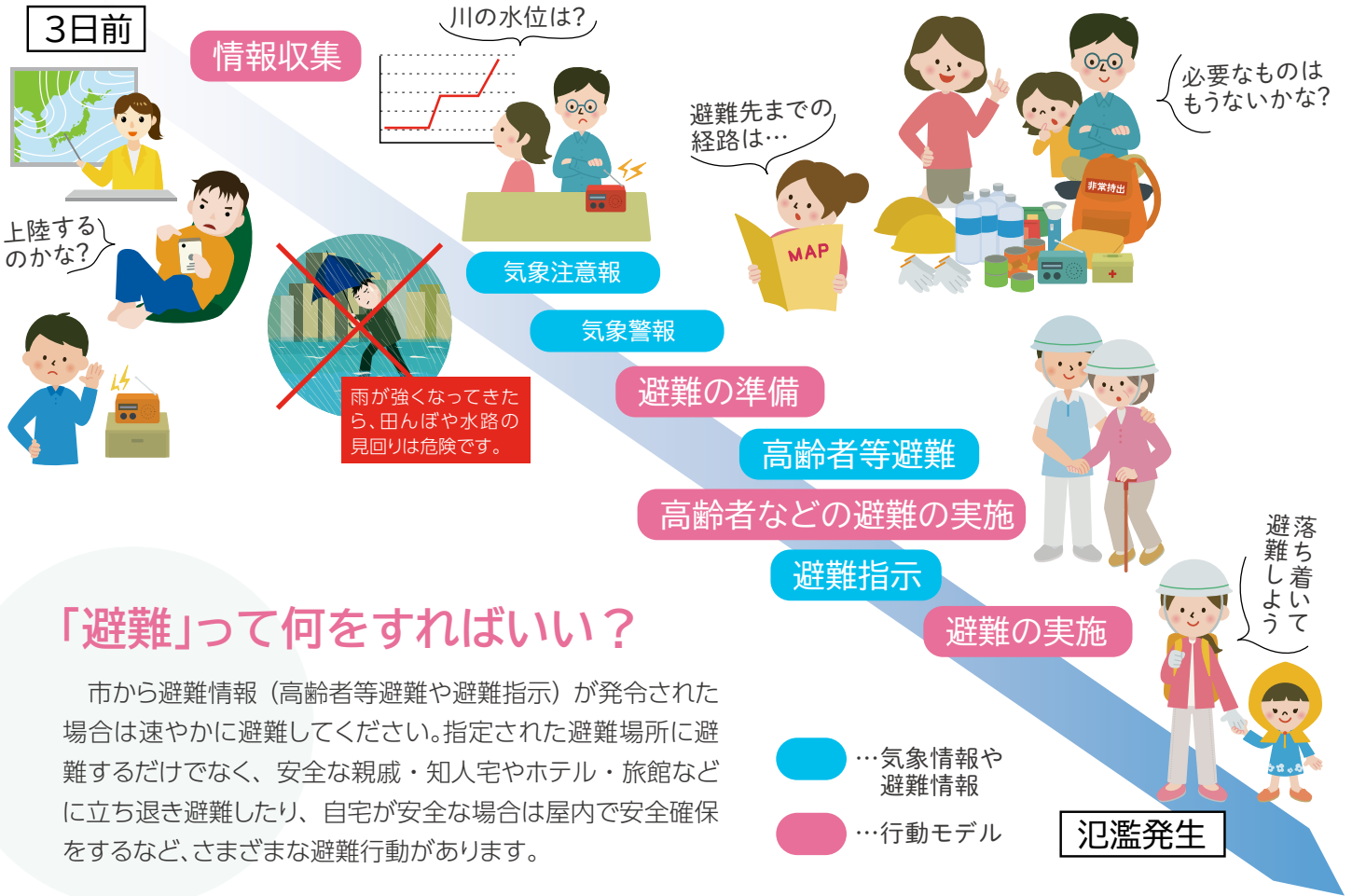


6月は「土砂災害防止月間」

防災・減災のために、どう行動しますか？

梅雨の季節になりました。この機会に、急激な豪雨や長引く大雨、台風の接近などを想定し、避難のタイミングや災害時、災害が起こる前にとるべき行動を整理してみましょう。

問危機管理室 ☎086-803-1082



「避難」って何をすればいい？

市から避難情報（高齢者等避難や避難指示）が発令された場合は速やかに避難してください。指定された避難場所に避難するだけでなく、安全な親戚・知人宅やホテル・旅館などに立ち退き避難したり、自宅が安全な場合は屋内で安全確保をするなど、さまざまな避難行動があります。

避難場所への移動

避難情報が出された地域の小・中学校、公民館（分館を除く）を、避難場所として原則同時に開設します。ただし、災害の種類によっては開設しない施設があります。

- 避難するときは、安全で手軽に動けることが最優先。長靴は水が入ると歩きにくいので、履きなれた底の固い靴を履いて避難しましょう。
- 避難場所には、高齢者や持病のある人も集まります。マスクなどで感染症対策にもご協力をお願いします。



福祉避難所

福祉避難所は、高齢者福祉施設や障害者支援施設などの中に開設される避難所です。大規模災害時などに、一般の指定避難所で長期の避難生活を続けることが困難な高齢者や障害者などの要配慮者が対象です。受け入れ体制が整った段階で開設します。

詳しくは、HPをご確認ください。



屋内安全確保(垂直避難)

避難場所に行くのが危険な場合は、ハザードマップを確認し、自宅の浸水しない上階の部屋や、2階以上で山側から離れたところなど、少しでも安全な場所に避難しましょう。



例えばこんなとき

- ☑ 夜間で視界が悪いとき
- ☑ 自宅周辺がすでに浸水しているとき
- ☑ 豪雨で屋外移動するとさらに危険なとき など



屋外の状況や時間帯で判断し、適切な行動を！

災害が起きたときの情報の取得方法

テレビ

市から発信する「避難情報」や「避難所の情報」などを見られます。

【利用方法】

NHK 総合にチャンネルを合わせ、デジタルテレビのリモコン「dボタン」を押してください。

岡山市メール配信サービス(岡山市防災メール)

避難情報・気象情報などを配信しています。日本語のほか12カ国語に対応しています。

【登録方法】

- ①QRコードから空メール送信
- ②返信された登録用メールの案内に従い配信希望の項目を返信



緊急速報メール(エリアメール)

対応する携帯電話やスマートフォンへ、特定エリアごとに直接、緊急地震速報や災害・避難情報などを一斉配信します。

ラジオ

停電時やインターネットからつながりにくい場合、最も情報を得やすいのがラジオです。

SNS

市公式 LINE ▶



市公式 X ▶



あなたを守る「もしもの備え」

災害はいつ起こるか分かりません。けれども未然に被害を防いだり、軽減したりすることは可能です。災害への備えを今一度確認しておきましょう。

家族との話し合い

自宅やその周辺、通勤・通学時の災害リスクをハザードマップなどで確認。災害の恐れが高まった際に、どう避難するかについて、事前に話し合っておきましょう。

家の中の安全確認

家具を固定し、出入り口や通路には物を置かないなど、日頃から家の中の安全対策を進めましょう。

非常持ち出し品

両手の自由が利くリュックサックや、できれば防水・難燃性の袋などに入れて、すぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。

家庭内備蓄

災害発生から3日(できれば1週間)分を用意。各家庭の状況に合ったものを準備し、一人一人が災害への備えを万全にしましょう。



非常持ち出し品と家庭内備蓄

非常持ち出し品の例

- 日用品**
懐中電灯、電池、携帯ラジオ、下着類、ビニール袋、体温計、ティッシュ、洗面用具など
- 非常食・水**
缶詰やクラッカーなど、火を通さずに食べられるもの。水はペットボトル入りが便利
- 衛生用品**
マスク、除菌シート、生理用品、汚物用ビニール袋など
- 救急医薬品**
傷薬、ばんそうこう、解熱剤、かぜ薬、常備薬、お薬手帳(写し)など
- 貴重品**
多少の現金、健康保険証の写しなど。公衆電話を利用するための硬貨も
- その他**
ヘルメット、軍手、ライター、ナイフ、雨かっぱ、カイロなど

家庭内備蓄の例

- 食料品**
調理不要、簡易な調理のできるもの。缶詰、ドライフーズ、菓子類、レトルト食品など
- 燃料**
卓上コンロや固形燃料、予備のガスボンベなど
- 工具**
ロープ、バール、はさみ、のこぎりなど
- 水**
飲料水は大人1人当たり1日3リットルが目安。水の配給を受けるためのポリ容器など
- その他**
簡易トイレ、毛布、寝袋、ラップ、食器類、シート、筆記用具、マスク、トイレトーパーなど

こんな用意もしておきましょう

▶ 乳幼児のいる家庭

粉ミルク、ほ乳びん、離乳食、スプーン、おむつ、清浄綿、バスタオルまたはベビー毛布、ガーゼ、おんぶひもなど

▶ 妊婦のいる家庭

清浄綿、ガーゼ、骨盤ベルト、産褥ショーツ、洗浄器および新生児用品、かかりつけ医の診察券、親子手帳など

▶ 配慮が必要な人のいる家庭

着替え、おむつ、ティッシュ、障害者手帳、補助具の予備、常備薬、予備のメガネ、緊急時の連絡先表など

▶ ペットのいる家庭

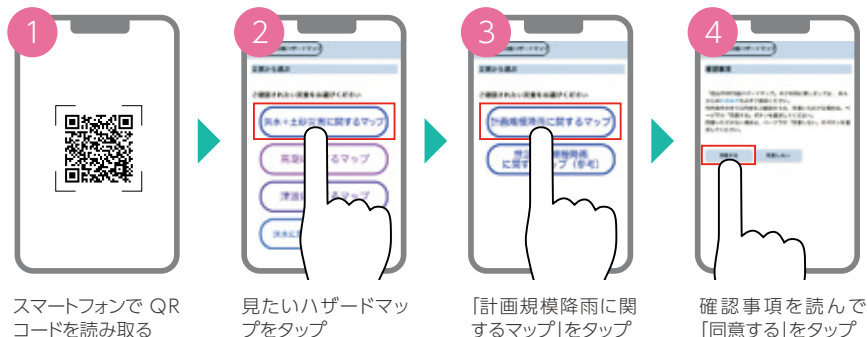
ケージやリード、ペット用非常食、ペット用トイレシート、タグなど

あなたの暮らすエリアにどのような災害リスクがあるか ハザードマップであらかじめ確認を！



ハザードマップには、想定される災害の種類ごとに浸水範囲や浸水高(深さ)、避難場所などの必要な情報が記載されています。WEB版ハザードマップでは、現在いる位置の危険度や避難場所へのルートを調べられます。

岡山市WEB版ハザードマップの見方(洪水・土砂災害の場合)



岡山市WEB版
ハザードマップ



岡山市緊急告知ラジオのご案内



避難情報や地震、津波、弾道ミサイルなど市内全域に関する緊急情報を受信し、放送するラジオを販売しています。電源を切っても自動で起動して最大音量で放送します。なお FM79.0 MHzのレディオモモを受信できる環境が必要です。

一般価格9,000円 軽減価格2,000円

※軽減価格になる対象は「65歳以上のみの世帯」または「避難行動要支援者」

<申し込み先>各区総務・地域振興課

<問い合わせ先>危機管理室 ☎086-803-1082



地域で災害に備えましょう

自主防災組織

自主防災組織とは、町内会単位などで地域の皆さんがともに協力して、自主的な防災活動を行う組織です。平時は、災害に備えた地域の体制づくりに取り組み、いざ災害が起こった時には、住民が力を合わせて避難誘導や避難所の運営などを行います。日頃から地域の自主防災活動に積極的に参加しましょう。



防災について学びたい

防災マニュアルなどの冊子配布、DVDや防災グッズの貸し出し、講師派遣制度をご活用ください。



避難訓練や防災イベントをやりたい

自主防災組織助成金や備蓄食糧給付事業をご活用ください。



自主防災組織に関する問い合わせ・各種申請先

危機管理室 ☎086-803-1082

各区総務・地域振興課

北区☎086-803-1656 中区☎086-901-1602

東区☎086-944-5038 南区☎086-902-3502